

北上市では約5万人の方が働いており、その中には女性も県外から来た人も育児や介護をする人などがいて多様なライフスタイルを送っています。

この「なりわい事例集」では、

働く人の多様な視点から見た企業の魅力や働く人が輝く職場づくり  
などについてインタビューしています。



なりわい事例集 vol.2

# 医療法人社団 敬和会

(介護老人保健施設たいわ)

- 介護を通じて日本とベトナムの架け橋に
- 子育て中でも安心して働ける環境で

地域に根ざした医療・介護・保育サービスの提供を通して地域に貢献しようと1989年に設立された「敬和会」。同年に誕生した「たいわ」は、リハビリなどで自立と家庭への復帰を支援する介護老人保健施設として、短期入所療養介護（医療型ショートステイ）と通所リハビリテーション（デイケア）のサービスを提供しています。

<https://keiwakai.sakura.ne.jp/keiwakai/topics/>

# 介護を通じて日本とベトナムの架け橋に

－ 北上市で輝く外国人介護士 －

#日本とベトナムの架け橋

#外国人介護士

#楽しく働ける職場

#自動車免許を取得



グエン ティ  
ホン ニュンさん(27)

2022年4月入社/介護職/  
ベトナム出身

おばあちゃんに介護が必要になり、それを手伝った経験から介護の仕事の大切さを実感したのがきっかけで介護の仕事を選びました。

もともと日本には興味があったので、日本で介護の経験をたくさん積んでいつか介護の仕事を通じて日本とベトナムの架け橋になれたらと思って日本に来ました。

最初は大阪を見学したのですが、ヒトが多すぎて（笑）そのあと北上市に来たら街も静かでいいなと思ったし、職場を見学したときもみなさんやさしくて雰囲気も明るかったので、（医）敬和会で働いてみたいと思いました。

日本とベトナムで文化や言葉の違いはありますが、それ以外にベトナムと日本はそんなに違いはないと思います。あまり大変なことはないです。

外国人と話すとなると、伝わらないことも多くあるのですが、それでもみなさんとても明るくていっぱい話して親切に指導してくれるし、困ったときも助けてくれるので楽しく働いています。

利用者さんやご家族の方から「ありがとう」と言ってもらえることにやりがいを感じています。施設を退所された利用者さんとたまにスーパーで会うこともあるのですが、挨拶してもらえたりすると、すごくうれしいです。退所されても私の顔や名前を覚えていてくれるんだなと思って、そういうのもやりがいになります。



休日はクルマの免許を取ったので自分のクルマで買い物に行ったり、友達と一緒に海を見に行ったり秋田に遊びに行ったりもしています。買い物は、北上駅の近くにアジアの食材を販売している店があって、ベトナムの食材もたくさんあるので、そこをよく利用します。あとはドリアンやマンゴーもおいしいし、お魚や豚肉も日本のスーパーでは買えない種類のものも売っているので、よく利用しています。

今後は、日本語の勉強をしてもっと上手になりたいですし、もっと介護の経験を幅広く積むために介護の研修や講座にも参加していきたいです。



上司の  
さとう あけみ  
佐藤 明美介護主任  
にもお話を聞きました！

ニュンさんはとにかく明るいです  
(笑)

それに努力家で、休憩時間も教科書を開いて勉強しているところもよく見かけます。

ニュンさんは他の外国人留学生の面倒も見てあげている点がすごいと思っています。

ニュンさんは自分から「クルマの免許を取りたい」と言って、

教習所にもひとりで通って免許を取りました。クルマを購入して、休みの日は他の外国人留学生も乗せて買い物に行ったり、海を見に遠出をしたりもしています。

### ---文化や言葉の違いなど苦労された点はありますか？

例えば利用者さんの食事を準備するとき、食べやすくするためにとろみをつけたりするのですが、そのとき「あんかけ」と言ったら伝わらなくて、というようなことはよくあります。ただ、そういうときも実際につくってみせたり、YouTubeで作り方を見せてあげたりするとニュンさんも理解してくれるので、そんなに苦労に感じることはないですね。きちんとコミュニケーションできていれば問題ないと思っています。

言葉の部分でニュアンスのところが伝わりにくかったり、利用者さんと接するうえでニュンさんも方言がわからなかったり、ご高齢の方だと活舌も悪くなって聞き取りづらくなったりする場合がありますが、そういうときは私たちがサポートしています。また、介護記録をつけるのも業務のひとつですが、文章の接続詞の使い方を確認してあげるということはあるのですが、それ以外は特別な配慮など必要ないくらい私たちと同じように働かれています。

ニュンさんと働いていると学ぶことが多いですね。いつも明るくて何事も前向きに捉えて取り組んでいて、向上心もすごくあるので私自身も刺激を受けていますし、異国の地に来てよくがんばっているなと思います。

# 子育て中でも安心して働ける環境

- 育休明けの不安も安心に変わる、柔軟な働き方

#子育てと仕事の両立

#育休明けの不安

#ママの仕事復帰

#職場のサポート

きくち はるか  
菊池 晴香(39)さん

勤続9年目/看護職/  
お子さん2人(3歳、7歳)



**晴香さん** 私は小さい頃から人のお世話をすることが好きで、高校生になって看護師になりたいと思うようになりました。

もともと一関市の病院で働いていて、結婚を機に北上市に移住することになりました。病院の仕事は充実していたのですが、忙しくて時間に追われるような毎日だったので、次の職場はもう少しじっくりひとりひとりの患者さんと向き合えるような働き方をしたいと思ったときに、ここを紹介していただきました。

**香子さん** 私が幼少期に入院したとき、看護師さんに精神的にすごく支えられたと母から聞いて、患者さんはもちろん患者さんのご家族も、身体だけでなく心のケアもできるような看護師になれたらと思ったのがきっかけです。

私は(医)敬和会で働こうと思ったのは面接のときに職場を見学して、子育て中のママさんが多かった点と、子育て中のママさんも働きやすいようにフォロー体制が整っていて働きやすい職場だと思ったからです。



さいとう こうこ  
齋藤 香子(41)さん

勤続4年目/看護職/  
お子さん2人(7歳、12歳)

---お2人は仕事と子育てを両立されていますが、子育てしながら働くという点で現在の環境はいかがですか？

**晴香さん** どういうスタイルだと一番働きやすいかという要望を聞いたうえで働き方を調整していただけるのでとても働きやすいです。私は育休を一年間しっかりいただいたので、基礎的なスキルが落ちているんじゃないか、育休前のように動けないんじゃないかと育休が明ける頃になると不安でした。実際に育休が明けて働き出しても、自分の理想とする動き方ができなかったり、ミスがあったりするとさらに不安になって、小さなことでも先輩に相談したりしていました。そういう不安がありながらも働き続けられているのは、やっぱり理解のある方が周りにたくさんいて、相談できる環境があるからで、すごく支えられていると感じています。

**香子さん** 学童の時間に合わせてシフトを組んでくださったり、土日に行事が多いと子どもを預ける場所がないということもあるのですがそういった点も考慮してくださいませ。子どもとの関わり方も子どもの成長に合わせて変わってくるので、柔軟に対応していただけるのは有難いですね。あとは子育てしながら働いている仲間が多いので、子育ての相談をしたり、愚痴を言い合ったりできるのも助かっています。

---働くママさんとして、今後の目標を教えてください。

**晴香さん** 今いる環境で、自分に与えられた役割というか仕事があるので、それを着実に、ひとつひとつ丁寧に行っていければと思っています。

**香子さん** 私は家族や周りの理解もあって、主婦をしながら看護学校に通って5年前に資格を取ることができました。看護職の現場で働くのもここが初めてで、日々学ぶことが多くて、一生勉強だと思っています。新しいことを覚えるのは楽しいので、楽しみながら成長していきたいです。

**晴香さん** この職場は看護師だけでなく、多職種の方が働いていて、その連携も大切です。そういう環境のなかで、香子さんはコミュニケーション能力が高くて、キャラクターも親しみやすいので、利用者さんだけでなく、いろいろな職種の方と上手に情報共有されていると感じています。

**香子さん** 晴香さんは看護師としての経験が豊富なので、教科書では学べないような、状況に応じた臨機応変な対応の仕方など、いつも学ばせていただいています。



▲内服薬に間違いがないようにチェックするのも看護師さんの大切な仕事。いつも2人で行い、Wチェックしているそう。

上司の  
さいとう ゆみ  
齊藤 裕美看護主任  
にもお話聞きました！



晴香さんは仕事に入る前にその日の業務内容を把握したうえで、業務時間内にその日の業務を終わらせられるように優先順位をつけて行動していて、頼もしい存在です。香子さんは5年前に准看護師の資格を取得して、すぐにこちらに入職されたということで、実務経験もないなかで注射など医療行為もマンツーマンでイチから教えながら一緒に働いてきました。もちろん今は独り立ちできていて、でもそれは本人の努力の賜物で、なんでも真剣に取り組む姿勢が素晴らしいと思っています。

### ---お2人の強みはどんなところですか？

晴香さんは病院での看護経験もあるということで、利用者さんの状態・変化にも素早く気づくことができ、判断も的確ですし、それが早期治療につながっている部分もあると思います。香子さんはどんな仕事でも前向きに取り組んでいて、未経験のことでも先輩に教えられながら、自分でもひとつひとつ確認しながらそれを習得しようと努力していて、それが香子さんの強みだと思っています。

### ---子育て中の方に配慮している点がありますか？

看護師は12人在籍していますが、そのうち5人が子育てしながら働いています。上の子は成人していますが、私も小学生が2人います。子育てしながら働くのは大変ですが、みんなで助け合いながら働きたいと思って日々の業務にも取り組んでいます。

子育てしながら仕事をしていると、子どもが熱を出したりして突発的な出来事が起きて、どうしても休まざるをえないということが出てきます。そういうときは業務をみんなで負担して柔軟に対応できるようにしています。また、一般的には入社してから6ヵ月は年次有給休暇が付与されませんが、(医)敬和会では小さな子どものいるスタッフには入社したその日から急に子どもが熱を出しても休める有給休暇の制度があります。育児休業についても、一般的には子どもが1歳の誕生日を迎える前日までとされていますが、生まれた子どもの最初の誕生日を盛大に祝ってあげてほしいということで、1歳の誕生日も特別休暇として休めるように配慮しています。

これは2人だけでなく全看護師に言えることですが、コロナ禍でひとりひとりの業務負担も増えて、研修などに参加したくても参加できない時期もありました。現在はそれも乗り越えて、外部研修などにも参加できるようになっているので、そういった外部の研修なども活用して、ひとりひとりがキャリアアップを図れるように応援してあげたいなと思っています。